

ふれあい

記事と情報は
周陽公民館へ
☎ 28-6515
メールアドレス shuyo-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

2月の資源回収日は17日(第3日曜日)です。

どんど焼き



火おこしの儀



餅つき



1月13日(日)

前日の雨も上がり晴れ間が見えるなか、各家庭から持ち寄られた正月用のお飾り等を焼き上げる『どんど焼き』が行われました。遠石八幡宮の宮司さんに、この一年間の家内安全・無病息災の祈願をしていただきました。今年は外国の方も古式豊かな「火おこしの儀」に挑戦されました。餅つき大会も同時に行われ、つきたての餅を入れたぜんざいがふるまわれ、最後に参加者全員に紅白餅が配られました。

これからの主な行事 2月

- 1日 (公) 趣味文化教室運営委員会
- (コ) 交通立哨
- 13日 (幼) 新入園児一日入園
- 15日 (社) 周陽子育てサロン
- 17日 (コ) 資源回収
- 18日 (中) 一日入学説明会
- 20日 (幼) 防犯教室・PTA講演会
- 21日 (社) 食事交歓会
- 22日 (コ) 三地区コミュニティ連絡協議会
- (小) 新入児一日入学
- 22-25日 (中) 学年末テスト(1, 2年)
- 26日 (コ) 周陽ブロック人権教育推進協議会

●周陽公民館文化祭●

3月9日(日)

★詳しくは来月号のチラシを
ごらんください!



あとがき

今年も暖冬かと思いきや、大寒の言葉通り寒さもきびしくなり健康に注意が必要になって来ました。
今月号から字や写真も大きくし見やすい紙面をめざしてA4判での発行をすることにしました。皆様いかがでしたでしょうか? これからもこの大きな紙面に負けない内容となるように部員一同がんばりますので、これからもよろしくお願いたします。



講座紹介

～習字A・B～



習字A 西谷 麻由美
私たちが習字Aは、人数の多くなった午後の習字Bから分家するといふ形で、現在七名で、和気あいあいと活動しています。
子連れで参加しているのは現在私ひとりですが、先生を始め教室の皆さんにあたたかく迎えられて、迷惑をかけながらも続けられています。
長年の「字がへた」のコンプレックスを打破するため(?)始めた書道で、まだ半紙が精一杯ですが、いつかは条幅に漢詩の作品を作りたいと頑張っています。



習字B 浜田 礼子
入会の動機・年数等種々な講座生が十名、栗崎先生の字に魅せられ、暖かいご指導のもと、和気あいあい楽しく学んでいます。
昨年末、先生は「大腿骨頸部骨折」のアクシデントをものともせず驚異的な復帰をされたのです。
左足を牽引したまま、痛みと熱に耐えながら手本をかかれた熱意には感服させられました。
先生の強靱な精神力と、書への情熱に心配していた講座生が反対に勇気付けられ、書の道を共に学び続けようと話し合ったところで



建国記念の日

ふれあいのウォーク 記念行事

と き 平成20年2月11日(祝) 9時30分～
 集合場所 コミュニティ広場(公民館西側)
 行事内容 ① 記念式典 9:30～
 ② ウォーキング 9:45～
 主催 周陽地区建国記念の日記念行事実行委員会
 問い合わせ 周陽公民館(28-6515)

- ◇ 家族、友人、一人でも、
どなたでも一緒に参加できます。
- ◇ おやつ、豚汁を用意しています。
(お茶などは、各自持参)
- ◇ 歩く途中の地点で、
防災防犯クイズがあります。
- ◇ 競争ではありませんので、車などに気をつけて、
体力に合わせて歩きます。

◆皆さんお誘い合わせの上ご参加ください

※雨天の場合は、公民館講堂にて式典・防災防犯クイズ等を行います

防犯パトロール

子ども達を見守る...



周陽小学校子ども見守り活動について

コミュニティ事務局 中原季人

数年前から子ども達を巻き込んだ事件・事故が多発しており、弱者である子ども達を守るため、全国の学校でいろいろな取り組みが行われています。周陽小学校でもスクールガードを立ち上げたのを機に、少しでもお役に立ちたいと、有志で見守り活動を始めることにしました。

現在の活動メンバーは、周陽地区交通安全協会の早船智さん・重岡良彦さん、花いっぱい運動の田中寛さん、そして私の4名で、子ども達の下校時間に合わせ、不審な人や車、危険な物がないか等を確認しながらパトロールをしています。しかし私達だけでは目が行き届きません。そこで地域の皆様にもご協力をお願いします。日常生活(散歩や買い物等)を子ども達の帰宅時間に合わせるだけでも助けになります。また、一緒に活動できる方も募集していますので宜しくお願い致します。



「周陽小スクールガード」のベストを着用して活動されています。

上記写真 右 田中さん
左 中原さん

新年互礼会 開催される

1月12日(土)

島津市長ご夫妻を始め多数の来賓の方々にご出席いただき『周陽地区新年互礼会』がコミュニティ主催で行われました。年の初めを祝い、今年が良き年でありますように、そして、さらなる地域の発展を誓いました。



健康講演会に参加して...

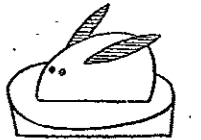
—1月16日開催—

『脳を若々しく保つヒ・ケ・ツ』と題した原田先生による講演が開催されました。50代から80代までの80余名の参加者があり関心の深さがうかがわれました。

参加者の声

★ 認知症になっても誰もが安心して暮らせるために
必要なことはなんだと思いますか？

- ・ 誰もが認知症を知ること。(60代)
- ・ 周囲の理解が必要です。(60代)(70代)
- ・ 家族は勿論であるが近隣その他周りのサポートが必要と思います。(70代)
- ・ 食事・ウォーキング・歌を歌って。よき友を求めて外出。何事もあきらめない。(60代)
- ・ 愛ある家族の生き方。人との縁を深めて楽しい日々を過ごす。(70代)
- ・ 周囲の人に知ってもらうこと。
家族だけでなくやさしく接することが出来たらと思います。(70代)
- ・ 周囲の思いやりが唯一の救いになるのでは・・・(50代)
- ・ 家族の理解とそのまますべて受け入れてもらえる地域の雰囲気、態勢があれば・・・(60代)



★ ご意見、ご感想をお書きください。

- ・ 出来ることを頑張る。とてもいいお話でした。
- ・ 最近物忘れが多くて、もしかしたら認知症ではと心配していましたが、お話を聞いて安心しました。
- ・ 認知症には、種類があると知らなかった。
- ・ 先生の説明がとても分かりやすく自分の生活の反省が出来た。
- ・ 認知症の方と接する場合、その方の人格を尊重し対応しなくては・・・と思いました。

～アンケートより抜粋～

主催者から

健康講演会(脳を若々しく保つヒ・ケ・ツ)に多くの皆さまご参加下さいまして有難く厚く感謝致しております。

原田医院 原田先生の認知症についてのお話しは、関心が高く、日常生活の中で認知症への不安・地域で暮らす認知症の人との接し方等、事例を挙げてわかり易く楽しく聞かせていただきました。

周陽地区でも年々高齢化が進んでおります。介護予防の取り組みとして「周南シャッキリ体操」を活用し、手足の筋力アップ・脳の活性化を図り、楽しく心身共にリフレッシュしましょう。

この地域でほんの少しのやさしさと思いやりの心をもちたいものです。

周陽地区コミュニティ推進協議会・福祉部長 河村啓子

